

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	11月29日
所属学部・ 研究科・学府	法政経学部
所属学科・専攻	政治政策学科

1. 留学先について

留学先大学名	オーストラリア国立大学											
留学先所属学部等	the college of Asia and Pacific											
留学期間	出発日	2019/2/11	入学日	2019/2/17	修了日	2019/11/14	帰国日	2019/11/27				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他()							
	通学時間						<input checked="" type="checkbox"/>	On campus				
	通学方法	自転車・徒歩										
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	<input type="checkbox"/>	() 人部屋	<input type="checkbox"/>	その他()					
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input type="checkbox"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	50 %	学食	25 %	外食	25 %	その他	() %				
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ傷害火災保険株式会社(たびほ)										
	派遣先大学指定の保険(名称)	OSHC						<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田 ⇄		ブリスベン(飛行機)			⇄ キャンベラ(飛行機)						

2. 留学にかかった費用について

総費用	2,000,000 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	1,300,000 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	700,000 円	<input type="checkbox"/>	その他名称()	<input type="checkbox"/>			円
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>			円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	✓	現金	10,000 円	その他()	円
留学中	✓	海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	全額・クレジットカード
住居にかかった費用	全額・クレジットカード
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			152,460	円
海外旅行保険			184,110	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証	AUD	620	45,000	円
住居	AUD	11,520	852,000	円
食費	AUD	7,500	555,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費	AUD	54	4,000	円
光熱費			0	円
その他 (旅行)			100,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
1 ASIA2039 BURMA/MYANMAR - A COUNTRY IN CRISIS	正規	6				
2 INTR2020 (IN)STABILITY ON THE KOREAN PENINSULA	正規	6				
3 MEAS1001 INTRODUCTION TO THE MODERN MIDDLE EAST	正規	6				
4 STST2001 SECURITY CONCEPTS IN THE ASIA-PACIFIC	正規	6				

5	ASIA2065 ASIAN POLITICS: FROM CONCEPTS TO CAUSES	正規	6				
6	INTR2012 CHINESE FOREIGN AND SECURITY POLICY	正規	6				
7	MEAS2105 THE POLITICAL ECONOMY OF THE MIDDLE EAST	正規	6				
8	POLS1006 INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS: CONTEMPORARY GLOBAL ISSUES	正規	6				
9							
10							

3-1. 授業科目の選択、登録方法

千葉大のポータル・moodleと同システムのisis・wattleと呼ばれるものがあり、isisからコースを検索して記入すれば登録が完了する。

一学期ごとに4つのコースを受講するが、これは最初の一週間まで変更可能である。

3-2. 授業内容、方法に関して

専攻によってばらつきがあるが、文系(言語学系を除く)であれば基本的に一週間の中で講義(レクチャー)2時間とゼミ(チュートリアル)一時間となる。時間数だけ見れば余裕があるように見えるが、実際は授業に関する予習・復習また課題があるので一日の多くを勉強に費やすこととなる。ゼミはattendance pointが付くので出席しなければならないが、講義は必ずしも出席しなければならないものではない。たとえいかなくてもwattle上で録画されたものを見ることが出来る。政治学系の課題はほぼエッセイである。その字数はまちまちだが、1000-1500wが1・2本/2000-2500wが1本/3000-以上が1本これくらいが1コースにおける課題の総数である。それぞれある程度時間がかかるので5日前から少しづつ始めなければならず、結果的に毎日何かしらの課題をこなすようになることは言うまでもない。エッセイは添削後返却され、点数・コメントを見ることが出来る。

3-3. 語学力について

英語力と言っても抽象的なので、writing/reading/speaking/listeningに分けて述べる。

1. Writing/reading 先にも記述したようにエッセイの量が多いので、最初は1000w程度でもつらいように思えるがしっかりと課題に取り組み、最終的三時間程度で1800w程度かけるまでには成長する。Readingに関しても同様にreading lists やエッセイのreferenceの論文を日頃から読むように努力すれば自然と早く正確に読めるようになるだろう。

2. speaking/listening 前者に関しては、人と話すのが最短かつ唯一の方法である。決してやらないとやってやるのではなく、友達と話したり過ごす時間を楽しいなと思いながら生活していれば自然と成長は期待できる。

listening に関しても同じでどれくらい英語と触れているかが重要だ。あまり自分に期待しすぎることなく、時たま感じる小さな成長に一つ一つ気づきながら過ごせば楽しく自己成長ができると思う。

3-4. 図書館など学内施設について

ANUにはいくつもの図書館があるが、メインはChifley・Hancockの二つで、どちらも24時間オープンしている。自分も課題で忙しい時期などによる3時ころまで滞在していたり思い出深い場所でもある。それ以外にもkambriと呼ばれるエリアには、Marie Reayなど勉強するところや食事をすることは多い。また、ジムやパブなども学内にあるので基本的な生活は学内で十分行える。

3-5. その他

大学がとても広いので、自転車などの移動手段を持つ方が便利である。どの施設もきれいで整備されている。

4. 生活面

4-1. 住居について

自分が住んでいたのはWamburun Hallという比較的新しいHallだが、いいところと言えばダブルベッド・スクリーン付きの広めの部屋くらいでそれ以外はお世辞にも褒められたものではない。というのもキッチンが共有でいつも汚く、コミュニティーが良くないので住人がそれぞれ別に生活しているような感覚である。また木曜日(一般的にお酒を飲む日)は本当にいつもうるさいので、これから行く方にはお勧めできない。

4-2. 食生活について

ANUのHallはビジネス色が強く、コミュニティーなどに気を使うところが少なく学生の不満も多い。これから行かれる方に向けてその中でもお勧めできるものを二つ紹介したい。
一つは、B&Gで一番歴史のあるHallである。ここはSelf-cateredなので自炊が求められるが留学生の割合が非常に高いInternationalなHallであり歴史があるのでどのように良いコミュニティーを形成するか把握しているように見える。住民も満足しているように見える。
もう一つは、Johnsでありこれも古い。こちらはcateredなので自炊する必要はなく、比較的小さいホールである。小さいホールなので、それぞれ住民のつながりが強く楽しんでいるように見える。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

千葉大学と同様に大学内にwifiがありこれは安定しているので学内全域で使用可能である。HallにもWifiはあるので、インターネット環境に問題はない。

携帯電話に関しては、Vodafone, Optus, Telestraがメインだがそれぞれに差はあまり感じずOptusが一番安いので自分はOptusを使用していた。

4-4. 服装について

2月から5月ごろまでは比較的暖かいので日中は半袖で過ごせるほど快適である。逆にそれ以降は意外と長く寒い期間が続くのでしっかりとした防寒を心掛けたい。というよりは、1年を通して日中は問題ないが夜や風の強い日があるものすごく寒いので天気への順応は一つ課題である。

4-5. 健康管理について

とにかく気持ちを楽にするようにして過ごすことが大切である。どうしても課題をやらないと英語をしゃべらないと意識過ぎると生活に余裕がなくなり風邪をひいたりビタミン不足になって手が震えだすので、無理やりにでも気持ちに余裕を得るように心がける必要がある。

もし風邪をひいたりする時用に日本から薬を多めに持参するのが良い。オーストラリアの薬が効きにくいわけではないが、タブレットが日本のものより大きく日本のものの方が効きやすい印象がある。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

実際に保険(OSHC)を利用したのは一度だけであるが、大変便利であった。一度手を深くハサミで切ってしまうと病院に行かなければならなかったときにOSHCに加入していたので無料で治療を受けることが出来た。もしものためにしっかりと保険などを準備することは大切である。

OSSMAに関しては、幸い必要になったことがないので特に言及できることはない。

4-7. 課外活動について

ここが一番心残りのあるパートである。まず前期は勉強だったり他のことで自分自身が精一杯だったのでそこに目を向ける余裕がなくてできなかった。後期はそういった機会を作ろうと思ったがキャンベラという特性上思い当たるような課外活動がなく見つけることは難しかった。確かに日本語を教えたりいくつかの課外活動は存在するがそれらは自分の興味とはズレるものであった。キャンベラはどうしてもANUだけという印象が強くオーストラリアの学生を見ても課外活動をキャンベラで行っている人は少ない。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

これも同様にANU以外にコミュニティーがあまりないので交流は少ない。

4-9. 日本から持参してよかったもの

薬系は日本のものの方が飲みやすく効きやすいので多種多様に持っていくのが良い。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日本食-現地でも調達可能
携帯用炊飯器-小さすぎて普段使いできない・現地で安い炊飯器は買える

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

オーストラリア人は基本的に親切で人懐っこいです。なので、とにかくシャイにならずに気さくにかかわろうとすれば自ずと友達は増えていくと思います。オーストラリアは俗にいう多民族国家なので何か共通していることはありません。違うバックグラウンドを持つ人は異なるアプローチでコンタクトしています。なので、自分の常識から離れた行動・マナーを持っている人に出会ったからと言って一辺倒に拒否反応を示すのではなく受け入れるむしろ気にしない姿勢を持つことが重要です。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

- ・ シドニー(観光・キャリアフォーラム) 2019年8月・6月(どちらも2日間)、計約40,000円、バス
- ・メルボルン(観光) 2019年7月 (5日間)、約60,000円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

キャンベラで”遊ぶ”ことを見つけるのは難しいですが、自然が好きな人であればサイクリングなどのアウトドアのアクティビティをお勧めします。というのも、これはオーストラリア全体に言えることですがサイクリングロードが大変整備されています。それ以外にも野外にあるBBQ場が自由に使えたりするなど広大な自然を楽しむことができます。
またナイトライフを楽しみたい方ならば、クラブなどもお勧めできます。MOOSEというANUの学生なら誰でも知っているクラブがあり入場が無料な木曜日には学生が多く集まります。たまな息抜きには良いでしょう。

5. その他

5-1. 留学先大学について

ANUはオーストラリアのみならず世界的にも有名な大学です。特に私が専攻していたIR(国際関係学)では世界ランカー桁台という大学です。必ずしもランキングで大学を評価することはできませんが、コースのレベルは非常に高いです。講義はすべて録画されて何回でも視聴することが出来るのはもちろんのこと、エッセイは添削され返却されるので復習することが出来ます。学生の多くは、アカデミックな話を好んでするという環境なので、留学のメインを勉強というところにおいては大変おすすめできます。しかし、大学がアカデミックに偏り過ぎているため実践的なインターン機会などには乏しい印象です。ただ1年未満という交換留学という観点から見分には、勉強が積極的に行いたい方にとっては良い大学です。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

この留学希望者がANUへの留学を指すのか、留学そのものへの希望なのか不明なのでどちらに関しても言及したいと思います。

1. ANU

5-1で申し上げたように、勉強が好きな方にはお勧めします。しかし、交換留学は正規留学ではありませんので勉強以外にも目的がある方もたくさんいらっしゃると思います。英語を伸ばしたいのならANUでも大丈夫です。他の国についてはわかりませんが、オーストラリアはnon-nativeに寛容なので拙い英語も聞いてくれます。旅行を多くしたい方は、他の国を選択しましょう。オーストラリアにも名所はありますが、結構似ているところが多い印象ですし、歴史の浅い国です。なのでお勧めできません。

2. 留学自体

留学はハードルの高いもののように見えます。英語試験を受けなければならないし、手続きも多く面倒です。行ったら行ったで不安なことも多いです。しかし、何か月か住んでいると自分が思っていたハードルが意外と低いと思う瞬間が訪れます。これは留学に限らずすべての挑戦に対して言えることではありますが、交換留学は失敗したところで実質的に失うものは何もないので、気を楽しんで自分の進みたい方向に素直に進めばよいと思います。

5-3. 留学を終えて

1. 今後の目標・進路

とりあえず自分が留学前に目標にしていた英語力は一定の納得ができるほどにまではなりましたので、これからはこの力を使うことをしたいと思います。例えば海外とつながりがある企業への就職だったり、海外大学でのマスター進学などです。まだ何も決めていないので、あまりここで申し上げられることはありませんが留学の経験が自分の将来の道をぼんやりと示し始めてくれたことは確かです。

2. 自信がついた部分

英語力は自信が付きました。自分がオーストラリアに一年間近く出てきた結論は、英語力というのは結局英語をどれほど自信をもって使えるかということです。これは必ずしもTOEFLで点数が取れるとかきれいな発音であるとかということではありません。たとえ英語がきれいに喋れても自信がなく口数の少ない人は相手にされないことが多いですし、むしろ汚い英語でも自信をもって使っていると相手も受け入れてくれる印象です。自分は決してネイティブレベルにはいませんが、この自信がついたことで積極的に話すことが出来ます。

3. 不安に思うこと

留学期間内ではいくら努力しても日本で一年間を過ごすより取得単位数はどうしても少なくなります。法政経学部では3年次に最大40単位取得できますが、ANUの単位をすべて互換できたとしても16単位にしかなりません。なので、今は4年以内の卒業が心配です。